

大江校だより

「チャレンジ」と「関わり」を楽しみ、「自己決定」する子どもを育てる

平成30年 6月 7日 (木)
山形県立楯岡特別支援学校大江校
第4号 文責 教頭 (中村)

作業学習の様子を紹介します。(高等部の学習)

① 「木工班」

いま、生徒達が制作しているものは、焼き杉ボックスです。ボックスを作るための工程がいくつもあり、生徒達は、分業で取り組みます。

工作機械やガスバーナーを使うため、正しい使い方を覚え安全に作業をする必要があります。また、組み立てでは小さな穴に細いひごを通したり、ボンドを適量塗ったりするなど、細やかな作業が求められます。



木材を同じ長さに切ります



慎重に穴をあけます



焼き杉の磨き作業



ボックスの組み立て

*

*

*

② 「陶工班」

粘土をよくこねたり、伸ばした生地を成型したり、丁寧に模様をつけたりして、器を作っています。みんなで力を合わせて働いています。



タタラ機で伸ばした
粘土の点検



たたき出し



力を合わせて模様つけ



タタラ作り

作業中にできてしまう粘土の切れ端なども捨てずに大事に扱います。切れ端を乾燥させたら、ハンマーで細かく砕き、水で溶き、へらでこして粘土を再生させるのです。それを型に流し込んで、小鉢などを作ります。

(裏面へ続きます)

「これは、チョコレート(作り)みたいなものですよ。」と生徒が教えてくれました。
確かにそうです！ 見事な例えに感心しました。



(写真左) 粘土砕き

(写真右) 粘土こし



*

*

*

③ 「園芸クラフト手芸班」

畑仕事や花の世話、そして手芸製品・クラフト製品つくりと、幅広い活動をしている作業班です。

畑には、ジャガイモやねぎなど、野菜を植えました。日々、水やりや雑草取りなどに頑張っています。土や汗にまみれながら、よく働きます。

クラフト手芸では、紙ちぎりやラッピング、ミシンがけ、アイロンがけ、毛糸編みや布織りなど、一人一人が自分の仕事に集中して取り組んでいます。



紙ちぎり (製品のタグ作り)

あずま袋のラッピング



アクリルたわしを作ります

新製品の
あずま袋



織った布は
コースターなどの
材料になります



作業学習ではこんなことも…

6月11日(月)から22日(金)まで、高等部では、現場実習(実際に企業や事業所で働く学習)や校内実習(学校内に会社を立ち上げ働く学習)を行います。現場実習では、出勤から退勤まで、一社会人として行動します。校内実習では、外部からの受注による部品組み立て等の仕事を行います。

※現場実習受入先などの情報をおもちの方は、ぜひ学校までお知らせいただくとありがたいです。